

「ネットワーク会議で共有・情報交換すべきこと」

令和2年度宇治市早期療育ネットワーク会議委員資料より、抜粋

小児科分野より	コロナによる家庭環境の変化を踏まえて対応すること
	医療へつなぐタイミングの検討
療育施設より	新型コロナウイルスに係る“受け入れ状況・感染予防策”等の定期的な共有。 また、新型コロナウイルスで通所頻度の保障が難しい際の代替え支援として具体的にどのような支援を実施されているのか等の情報交換
	コロナ禍で、今後各施設内で感染者が出た場合の対応方法や、情報開示レベルがどの程度まで等、一定共通した枠組みについての検討
	市の発達相談、児童発達支援事業申請と通所支援事業所と相談支援事業所との連携、療育開始、経過、終了、優先度調整についての課題共有、方針検討
児童相談所より	特別児童扶養手当診断書の作成にかかる地域の医療機関の充実
	市の事業で把握される（乳幼児期の）「発達の気になる児」の全体的な傾向と親支援の取り組み。また、その中で家庭の養育が懸念される児が確認された場合の連携の取り方
学校教育課より	調査研究部会の統計的データとの連携
障害福祉課より	障害児相談支援や保育所等訪問支援の取り組みを充実させるための連携

＜参考＞

令和元年度第1回会議での話題

- 保育力向上、保育・幼児教育現場への支援
- 要支援児の動向について、10年、15年前との比較
- 乳幼児健診での発達障害の早期発見…M-CHATの導入検討など
- 療育の紹介基準
- 加配と特児の関係
- 就学相談のあり方
- 発達障害についての医療受診の待機、児童相談所の待機